

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

平成30年1月24日 本市教育委員会会議へ報告
報告後、本市のホームページにて公表

(2) 評価の方法

成果指標を設定して、事業成果を分析して定量的に評価する。

・教育環境の質的な向上を図る整備については、学校が災害時における拠点施設となるため高齢者や身障者においても使用ができるように、トイレの洋式化率5割以上を指標とし南小学校の老朽化した校舎トイレを改修し、現代の生活様式に合った清潔できれいなトイレ環境を確保できたことを評価し、教育委員会会議に報告する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、達成できた。

南小学校の大規模改造(トイレ)については、児童や先生から好感触をえているほか、トイレの乾式化により排水口や老朽化したトイレからの悪臭もなくなり、悪臭防止に伴う大型換気扇により授業に支障を生じる騒音も改善され清潔で快適なトイレに改修できた。また、洋式トイレを大幅に増やし生活様式の変化により、和式トイレを学校以外で使用することのない児童の学校トイレの苦手意識の改善が行われた。1階へ多目的トイレを設置し、コミュニティースクール推進による地域の方の利用や災害時における避難の拠点施設でもあるため防災面においても高い効果を上げている。

5. 各目標の達成状況

(1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

南小学校全体の洋式化率が24.4%から67.9%に向上し、校舎部分では22.6%から88.9%と大幅な環境の改善ができた。そして、南小学校の老朽化した校舎トイレを改修し、現代の生活様式に合った清潔できれいなトイレ環境を整備できた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況